

9) 外部への講師派遣

板井英伸¹

キーワード：地域連携 人材育成 講演 講師派遣 外部団体

1. はじめに

当財団では、地域連携や人材育成を目的として県内外の学習施設や教育機関等から依頼を受け、当財団職員を講師として派遣、亜熱帯性動植物および海洋文化・琉球の歴史文化に関する調査研究の成果等の普及に取り組んでいる。

2. 令和4年度講師派遣実績

1) 派遣数及び派遣先（実施場所）

派遣回数は97回（対前年度比111.4%）にのぼり、受講者数は9,294名（同377.2%）であった（表-1）。また、新型コロナウイルス感染症拡大により年度当初は依頼が減少したが、その後はコンスタントに依頼があったほか、前年度に引き続き、オンラインでの開催など従来と異なる手法での対応が増加した。

2) 対象

公民館や自治会からの依頼の他、一般企業や大学・学会等からの依頼を受け、小学生から一般の大人まで幅広い年齢層が対象となった。

3) 内容

亜熱帯性動植物に関する講演や当財団が受託管理運営を行う中で培った知識や経験を基にする依頼内容となった。

動物に関する講演ではウミガメ、サンゴ、ザトウクジラなど、当財団が継続的に調査・研究を行っている生物に関する依頼があったほか、水族館獣医師や飼育員の仕事内容に関する講演を行った。また、琉球大学ジュニアドクター育成塾（琉大ハカセ塾）や海と日本プロジェクト事業「キッズドクター」など、若年者向け事業への協力依頼があった。

植物に関しては、沖縄県レッドデータブック改

訂委員会より編集作業への参加依頼があったほか、地域の農業に関する授業を実施した。

歴史文化分野では、琉球・沖縄の食文化に関する講座や、琉球王国時代の美術工芸品に関する講話、首里城の歴史と財団の取り組みに関連した講演を行った。また、「首里城学術ネットワーク」での発表依頼があり、対応した。

海洋文化に関する分野では他施設・機関との共同研究がおこなわれたほか、民俗文化財保護の観点から、糸満市等の自治体による協力要請を引き続き受けた。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、定員の減、時間短縮など講座規模の縮小傾向が認められたが、対面と併せてオンラインでの遠隔参加も積極的に募るなど、より広範囲・多くの利用者に情報の普及が行えるようになってきた。講演では、財団が関係する園内外での活動事例や施設の紹介も行い、関係施設の利用促進にも貢献した。

4) 今後の展開

講師派遣依頼による講演は、財団独自のノウハウや研究の成果を公表する場となる。その為、財団事業の認知度、社会的評価を向上させるための広報的事業として、継続する。

今後とも遠隔講座の実施や講演内容のWEB配信などを行うことにより、より効率的・効果的に、より多くの利用者に供する手法を検討する。

3. 外部評価委員会コメント

財団が有する研究共同体制で、地域連携を目的として、外部団体が主催する事業や講演などへの協力依頼について対応している社会貢献性の高い事業である。今後も積極的な協力・提供を期待する。（池田顧問：琉球大学名誉教授）

¹ 普及開発課

表-1 外部への講師派遣実施結果一覧

実施日 起案日	会 場 (市町村)	事業名(講座名)	内 容	参加人数	
4月6日	メイクマン浦添本店 (浦添市)	第44回全沖縄らん展示会 審査員派遣	沖縄県蘭協会・沖縄タイムス社主催の展示会(4/7-4/10開催)において、出品ランの審査を行った。	約	15
4月8日・22日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県立博物館・美術館 標本Web発信事業	沖縄県立博物館・美術館に収蔵されている坂口総一郎氏の標本整理を行い、Web上で公開するまでの作業協力		
4月11～16日 4月1日	久米島博物館(久米島町)	文化財(歴史資料)の調査 調査員	上江洲家関係資料の工芸分野(染織)の調査		15
5月2日	国立民族学博物館	文化資源共同研究員の委嘱	県内におけるタンク船についての調査研究ならびに収集に参加する。		
5月4日	もとぶ文化センター	第43回本部町老人クラブ大会での講演	本部町内各地の民俗について		
5月8日	首里染織館suikara	首里染織館suikara(那覇市)	パワボを用いて、染織資料の調査研究「苧麻と桐板の比較」を紹介し、両繊維の特徴について解説した。		30
5月24日	総合研究センター・水族館	施設見学研修	総合研究センターおよび沖縄美ら海水族館での調査研究・SDGsの取り組みなどを紹介。		7
5月14・15日 5月12日	読谷村 座喜味城跡公園	座喜味城跡公園の自然環境調査	同公園の植物相の現状把握、環境学習や普及啓発ツール作成を目的とした調査協力依頼を受け対応した。		4
6月3日 7月12日	伊江村 城山 他	沖縄県希少野生生物保護推進事業 現地モニタリング(ヒメハナナデンコ)	県保護条例指定種ヒメハナナデンコの生育状況モニタリングと今後保護保全に関するヒアリングを受けた。		2
6月8日	本部小学校 (本部町)	本部小学校の子ども教室における 出前授業講師派遣	ホシスナに関する講義と工作	約	30
6月18日	沖縄美ら海水族館周辺 (本部町)	サンゴ塾 美ら海サンゴキャラバンin沖縄	沖縄美ら海水族館についての解説	約	20
6月18日 7月16日 9月17日	沖縄美ら海水族館周辺 (本部町)	海と日本PJ「キッズドクター」	沖縄県内の小中学生による、海ごみ0を目指した実践活動案の計画・試行。3年計画の最終年度。	約	15
6月16日	東京国立博物館	久米島上江洲家資料の調査	文化庁の国宝指定へ向けた染織資料調査・助言		3
7月2日	首里城公園	首里城公園内の巡検	南島文化研究所より巡検の講師依頼を受け、首里城公園内の説明を行った。		20
7月3日	恩納村立博物館	ウミガメのひみつを知らう！ ウミガメの一生	スライド・調査道具・標本を用いて、ウミガメの生活史・調査・環境問題について講演した。		20
7月12日	日本大学	新しい水族館獣医療への挑戦 沖縄美ら海水族館からの研究発信	スライドを用いて財団および附属動物病院の他では類をみない研究および治療等を紹介した。	約	140
7月13日	水族館(オンライン)	上海日本人学校オンライン修学旅行	水族館「サメ博士の部屋」をオンラインにてライブ解説した。		350
7月15日	沖縄県総合福祉センター	令和4年度かりゆし美術展 運営等検討会議	「第13回かりゆし美術展」にむけた検討会議		15
7月16日 2月14日	オンライン会議	第8回レジャー・レクリエーション研究 国際会議実行委員会	8月20日・21日に開催されるレジャー・レクリエーション研究国際会議に関して、実行委員と会議を行った。	約	10
7月22日	名護市産業支援センター	沖縄美ら海水族館の挑戦～獣医師の視点より～	スライドを用いて美ら海水族館の健康管理について紹介した。	約	25
7月27日	本部小学校	めざせ！有孔虫ハンター！	ホシスナ等有孔虫についての講義とそれを用いた工作体験	約	33
7月27日	オンライン	沖縄のサンゴ礁は今 モニタリング調査と保全活動	財団の30年にわたるサンゴモニタリング調査から見てくる現状と、サンゴ礁生態系の保全につながる気候危機対策について	再生 数	5000
7月28日 7月7日	オンライン会議	沖縄県指定希少野生動物補種等選定検討委員会 第5回検討委員会	追加指定候補種の検討、モニタリング等計画、評価及び対策の検討について、県自然保護課、委員会委員と会議を行った。	約	15
7月29日	ヒルトン沖縄北谷リゾート	サンゴ礁生態系と海洋ゴミ問題	サンゴ礁生態系の保全につながる気候危機対策を海洋プラスチックごみ問題から考える		100
8月1日 R2年1月21日	WEB)会議方式	日本植物分類学会絶滅危惧植物専門第一委員会 レッドリスト改訂会議	日本産絶滅危惧植物のうち、十分なデータが中央に集まらなかった種に関して、委員の意見を集約し絶滅危険度を判定した。		24
8月6日 R4年2月14日	オンライン会議	第9回レジャー・レクリエーション研究 国際会議実行委員会	8月20日・21日に開催されるレジャー・レクリエーション研究国際会議に関して、実行委員と会議を行った。	約	20
8月17日	放課後児童クラブ第2あかちゃん 学校(恩納村)	「ウミガメのはなし」	ウミガメ等の海の生き物にかかわる学習プログラムを実施。	約	40
8月27日	美ら島財団 視聴覚室 水族館	水族館での研究活動について	水族館での研究活動について座学と見学も含めて紹介	約	15
8月28日	三重大学生物資源学部	日本哺乳類学会2022年度大会	財団の実施するザトウクジラ調査について、フィールド調査方法の紹介や国際的な連携研究活動の成果と苦労などについて紹介	約	250
9月3日	研究センター(オンライン)	NHK文化センター・サメ学オンライン授業	スライドを用いて、サメの起源と進化にかんする最新の研究動向について解説を行った。		7
9月6日 7月25日	国頭村民ふれあいセンター、比地 川(国頭村)	令和4年度外来種対策事業(植物対策) 作業部会および現地視察	令和4年度外来種対策事業(植物対策)作業部会を開催し、その後駆除対策種ツルヒヨドリの繁殖状況を現地において視察した。		10
9月10日	港川保育園 (八重瀬町)	ウミガメ学習	スライドを用いてウミガメの生態および海ごみが与える影響等を学んだ後、3種類の1歳ガメを間近で観察した。		27

実施日 起案日	会 場 (市町村)	事業名(講座名)	内 容	参加人数	
9月10日	石垣市	マングローブ生物観察＋生態系ゲーム	マングローブ林で生物を探し、観察したのちそれぞれの生物の繋がりを生態系マンダラを作成して意見交換を行い、理解を深めた。		5
9月25日	新江ノ島水族館	「海獣診療マニュアル」発刊記念シンポジウム 海獣診療の過去・現在・未来	スライドを用いて財団および附属動物病院の海獣の診療について紹介した。	約	50
9月27日	ヒルトン北谷沖縄 (北谷町)	水族館紹介と海洋ごみ問題について	美ら海水族館のコンセプトや展示生物の紹介、サンゴ礁生態系の解説、海洋プラスチックごみ問題について講演した。		300
9月29日 8月31日	ホルトノキ ホテル・トロピカルガーデン、熱帯ドリームセンター	熱帯ドリームセンターにおける熱帯植生に関する講義及びガイドツアー	熱帯・亜熱帯の植生の実際の姿と、そこに由来する栽培植物の原産地での生育条件について講義し、栽培状態の観察を行った。		6
10月1日	研究センター(オンライン)	下関海響館サイエンスカフェ	スライドを用いて板鰐類の繁殖について行ってきた当財団の取り組みについてオンラインにて紹介した。	約	20
10月4日	琉大附属小学校 (西原町・遠隔対応)	「中城村の特産品について」	パワーポイントを用いて鳥ニンジン、島ダイコンの栽培方法、中城村における加工品などを紹介し、質疑応答を行った。		106
10月4日	糸満市役所	糸満市文化財保護委員会	糸満海人工房所蔵資料ならびにサバニ建造技術の文化財指定について議論した。		8
10月8日	琉球料理 美栄	コンパクト講座「素材」から見る “沖縄の染織。”と“琉球料理。”	「古波蔵家の染織コレクションから見る沖縄の染織」		10
10月24～26日	御蔵島	東京都自然ガイド講習	近年、御蔵島周辺でも目撃情報が増加しているザトウクジラについて、国際的な研究も含めて東京都認定ガイド更新講習内で講演	約	70
10月24日	研究センター	佐伯鶴城高校研修	当該高校の研修旅行の一環として研究センターの研究事業と施設の説明と案内を実施した。		8
10月25日	研究センター	とわの森三愛高校研修	魚の解剖をととして、生態観察を行い、解説を行った。	約	9
10月26日	わんさか大浦パーク	大浦マングローブを用いた探求学習	マングローブ内で探求学習の補助を行った。		29
11月5日 10月19日	東京大学(東京都文京区)	植物研究雑誌編集会議	植物研究雑誌の今年最終号の編集校正状況の確認と次号以降の掲載予定論文の内容確認、編集方針の改訂などを行った。		14
11月9日	水族館オンライン	滋賀県立守山高等学校インタビュー学習	美ら海水族館で行われているサメの研究活動についてオンラインで質問に答えた。		1
11月10日	南大東村 多目的ホール	命と向き合う 沖縄美ら海水族館の獣医師の役割	スライドを用いて、水族館における動物健康管理について、獣医師の役割について講義を行った。	約	50
11月13日	豊見城市空手道会館	首里城学術ネットワーク	財団が実施している被災資料の修理状況と人材育成についての報告を行った。	約	100
11月18～21日	御蔵島	東京都自然ガイド講習	近年、御蔵島周辺でも目撃情報が増加しているザトウクジラについて、国際的な研究も含めて東京都認定ガイド更新講習内で講演	約	70
11月25日	琉球大学 (宜野湾市)	琉球大学地域連携推進機構 次世代人材育成協議会	事業に関する助言		
11月29日	真志喜中学校 (宜野湾市)	1学年 職業人講話	職業に関する講義	約	60
11月29日 8月12日	琉球大学(西原町)・オンライン	沖縄県版レッドデータブック改訂委員会	沖縄県版レッドデータブックの改訂・編集作業の内容確認、方針の整理などを行った。	約	20
12月1日	おきみゆー	沖縄ザトウクジラ会議	スライドを用いて最新研究結果に基づく南西諸島海域のザトウクジラを取り巻く現状と、保全と観光産業の両立について紹介、提案。	約	60
12月6日	黒島小中学校内 (竹富町)	ホシスナの学習会	スライドを用いた有孔虫の説明と、海岸で生体を採集して観察を実施した。		22
12月11日	サンエーメインプレイス (那覇市)	子ども科学技術人材育成事業 (サイエンステックフェス)	パネルを用いたマガキガイの説明と、殻を使った工作を実施した。		261
12月12日	水族館	岡山県立山南学園インタビュー	修学旅行で来館した中学生の自主研究に関するインタビュー。海洋酸性化などの環境問題に関する質問等に対応		3
12月12日	那覇事務所	琉球食文化調査業務 (探求研修)	琉球王国時代の食文化について講義。		3
12月12日	那覇事務所	琉球食文化調査業務 (探求研修)	沖縄の食文化(米軍統治下の影響等)について講義。		4
12月15日	本部棟視聴覚室	沖縄北部ホエールウォッチング協会総会	スライドを用いて最新研究結果に基づく南西諸島海域のザトウクジラを取り巻く現状と、保全と観光産業の両立について紹介、提案。	約	20
12月20日	首里高校	令和4年度沖縄県立首里高等学校 第2回学校評議会	首里高校の授業を視察し、先生方からの実績報告への意見を述べた。		12
12月20日	オンライン	奄美沖縄ガイドネットワーク	スライドを用いて最新研究結果に基づく南西諸島海域のザトウクジラを取り巻く現状と、保全と観光産業の両立について紹介、提案。	約	30
12月21日	波の上うみそら公園 会議室	沖縄中南部ホエールウォッチング協会	最新研究結果に基づく南西諸島海域のザトウクジラを取り巻く現状の共有と、保全と観光産業の両立について紹介、提案。	約	50
12月21日	OIST	外来種ワークショップ	県内の各種外来種対策に関する各種発表がなされ、当財団のタイフンハブ対策の取り組みを紹介した。	約	50
1月7日 10月19日	オンライン	植物研究雑誌編集会議	植物研究雑誌第98巻2、3号の編集と、1号の最終校正を行った		16

実施日 起案日	会 場 (市町村)	事業名(講座名)	内 容	参加人数	
1月10日 R3年度1月21日	オンライン	日本植物分類学会絶滅危惧植物専門第一委員会 レッドデータ判定会議	日本産絶滅危惧植物のうち、十分なデータが中央に集まらなかった種に関して、委員の意見を集約し絶滅危険度を判定した。	約	20
1月11日	沖縄県社会福祉センター (那覇市)	第13回ねりんピックかりゆし美術展審査会	出展作品の審査会、工芸部門の審査と寸評執筆		12
1月13日 12月1日	那覇市鏡水ふれあい会館 (那覇市)	「島ヤサイ産地調査業務」における調査協力	島野菜の鏡水大根に関する聞き取りに有識者として調査に同行		7
1月14日	美ら島自然学校	琉球大学ジュニアドクター育成塾事業 「琉大ハカセ塾」	ウミガメの生態講義、生体観察、穴掘り体験およびビーチクリーン後に環境問題についての講義を行った。		13
1月16日	株式会社大林組キャンピングシュブ 埋立工事現場事務所(名護市)	海のゴミと生きものたちの話	海のプラスチックゴミによる羅網や誤飲等ウミガメやクジラが受けている被害を画像で紹介し、自分たちのできることを考えた。		25
1月24日 8月12日	琉球大学(西原町)・オンライン	沖縄県版レッドデータブック第1回編集委員会	沖縄県版レッドデータブックの改訂に向けた、方針の協議などを行った。	約	20
1月25日	本部小学校 (本部町)	スターバックス、本部小 共同ザトウクジラワークショップ	クジラや自然の保全に関して、講演やゲームを通して学び、スターバックスと水族館に展示するメッセージを書いた。	約	40
1月25・27日	沖縄美ら海水族館 (本部町)	ザンビア共和国との水族館オンラインイベント	水族館とザンビア共和国の高校をオンラインで接続し、水生生物と海に関するインタラクティブ授業を行った。	約	250
1月26日	沖縄美ら海水族館 (本部町)	バイオメテックスシンポジウム	水族館で行われているサメの工学的な研究に関して、スライドで講演を行った。	約	70
1月27日 4月29日	名護中央公民館 (名護市)	名護市文化財保存調査委員会	名護市の文化財に関する各種審議、関連調査調整などを行った。	約	20
2月2～3日	オンライン	SPLASH-2運営委員会会議(オンライン)	北太平洋全域を対象とした国際的ザトウクジラ共同研究プロジェクトに関して日本代表組織として運営委員会議に出席	約	20
2月9日 1月23日	メイクマン浦添本店 (浦添市)	第50回沖縄県蘭協会展示会 作品審査会	第50回沖縄県蘭協会展示会の審査および講評対応をした。	約	10
2月9日 8月3日	総合福祉センター (那覇市)	沖縄県外来種対策事業検討委員会への委員就任(検討委員会)	外来種(維管束植物)の総合的な対策について検討した。	約	10
2月14日	海洋文化館、おきなわ郷土村、 備瀬集落(本部町)	金城学院大学・桑原研究室 スタディツアー	テキストを作成し、各施設・集落の概要について講義した。		8
2月15日 R3 7月7日	所内(Web会議)	沖縄県希少野生生物推進事業検討委員会への委員就任 (指定希少野生動植物選定検討委員会第6会検討委員会)	指定希少動植物の保護・増殖事業の方針について検討した。	約	20
2月17日	米国 マウイ島	Whale Trustザトウクジラ講演	米国ハワイ州の鯨類研究組織Whale Trustの主催するザトウクジライベントWhale Talesにて、日本のザトウクジラ研究について講演	約	500
2月21日・3月5日 5月6日	座喜味城址公園 (読谷村)	座喜味城址周辺の自然環境調査の調査員依頼(現地調査)	座喜味城址周辺の植物相調査の一環で、2～3月に開花または地上部が出現する維管束植物の現地確認と標本採集を行った。	約	3
2月22日	新江ノ島水族館	海獣シンポジウム下巻発刊記念シンポジウム	スライド等を用いて美ら海水族館における動物診療について講演を行った。	約	50
2月22日 12月2日	久米島町内 (別件と併せて)	琉球地域における国内希少野生動植物種の新規指定候補種の情報提供	国内希少野生動植物種の新規指定候補種(維管束植物)2種について分布、生育環境、栽培条件、必要性、課題等の情報提供をした。	約	1
2月27日	オンライン	ザンビアオンラインイベント	ザンビアの高校に水族館よりライブ配信を行った。水族館で飼育している生物の解説を通して、海洋生物についての紹介を行った。	約	200
2月28日	琉球大学	沖縄レッドデータブック哺乳類検討委員会	新たにザトウクジラやその他鯨類を検討対象とするための検討と来年度の調査計画書作成について打合せを実施		6名
3月11日	東京大学(東京都)	植物研究雑誌編集委員会	植物研究雑誌第98巻3号の編集と、2号の最終校正を行った。		15
3月14日 8月12日	琉球大学(西原町) ※WEB参加	沖縄県版レッドデータブック改訂委員会	改訂方針を決定するために会議をとおして全分類群で最終すり合わせをした。	約	20
3月16日	自然環境研究センター ※WEB参加	日本植物分類学会絶滅危惧植物専門第一委員会レッド データ判定会議	レッドデータ判定に関する検討を行った。		7
3月18日 8月29日	見花原遊歩道 (渡嘉敷村)	慶良間諸島国立公園ー自然に関するイベントー植物調査 体験会in渡嘉敷島	慶良間諸島の森の特徴や珍しい草木について調査体験や観察をとおして紹介した。	約	20
3月9日 3月18日	八重岳(本部町)	第3回もとぶ八重岳新緑まつり	八重岳山頂周辺における自然観察会	約	25
3月29日 5月12日	ユンタンザミュージアム (読谷村)	座喜味城跡周辺の自然環境調査(中間報告会)	今年度の調査結果を各分野別に報告を行うとともに、次年度計画及び普及啓発ツール制作について検討した。		7
3月13日	首里高校	令和4年度沖縄県立首里高等学校 第3回学校評議会	首里高校の現状説明および今年度の実績報告への意見		12
3月1日	水族館(オンライン)	ザンビアオンラインイベント	水族館とザンビアをオンラインで繋ぎ、水生生物の生態を解説するとともに、子供たちの質問に答えた。		20
3月21日	阿嘉島	座間味島ホエールウォッチング協会	スライドを用いて県内国内ザトウクジラの保全の重要性や最新研究成果について講演を実施した。	約	20
3月21日	座間味島	座間味村ホエールウォッチング協会	スライドを用いて県内国内ザトウクジラの保全の重要性や最新研究成果について講演を実施した。	約	60
3月26日	奄美大島(オンライン)	一般社団法人マナティ研究所	鯨類研究者の日常や現在の職業を志しきっかけなどを対話形式での講話を実施した。	約	60
3月号	機関誌	小笠原ホエールウォッチング協会	国内複数海域のザトウクジラの回遊や交流について、自動照合システムを用いて研究した成果について執筆した。		